
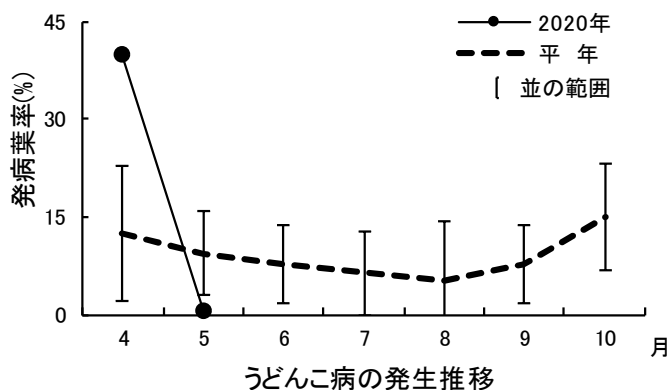


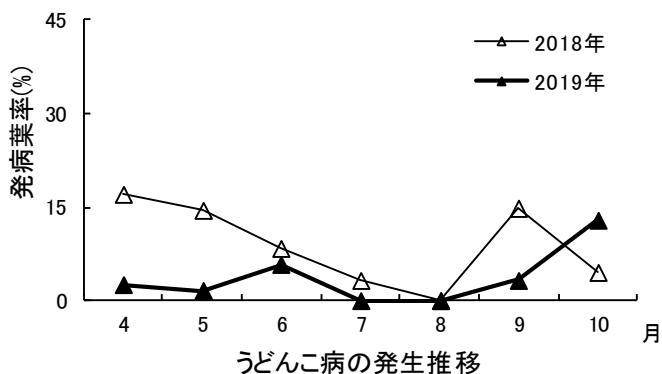
| | | | |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 作物 | オクラ | 地域 | 八重山群島 |
| 病害虫名 | ① うどんこ病 | |  |
| 予報 | 6 月の発生量 (平年比) | やや少 | |
| | 5 月からの増減傾向 | ↓ | |
| 予報の根拠 | 5 月の発生量 (平年比) | やや少 | |
| | その他 (気象要因など) | 平年の発生量の推移 (↓) | |

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



発生ほ場率 : 20.0% (平年 : 68.9%)

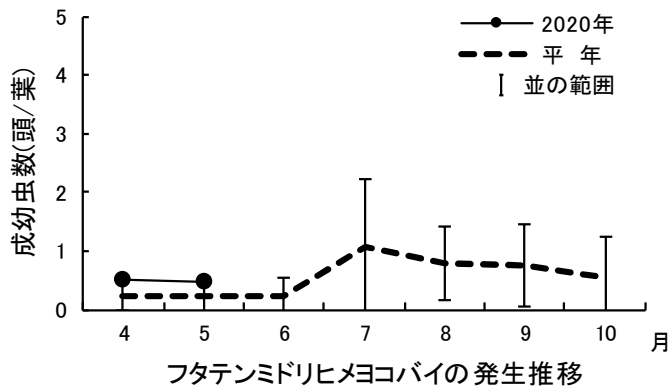
防除のポイント

- ・ 下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・ 窒素過多にならないようにする。
- ・ 草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

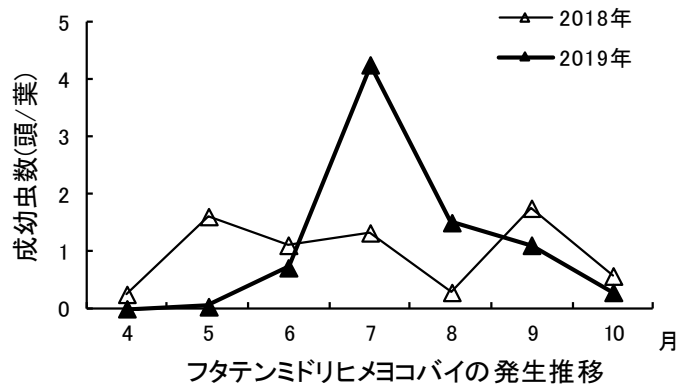
| | | | |
|-------|-----------------|----------------------|---|
| 作物 | オクラ | 地域 | 八重山群島 |
| 病害虫名 | ② フタテンミドリヒメヨコバイ | |  |
| 予報 | 6 月の発生量 (平年比) | やや多 | |
| | 5 月からの増減傾向 | ↗ | |
| 予報の根拠 | 5 月の発生量 (平年比) | やや多 | |
| | その他 (気象要因など) | 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み | |

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



発生ほ場率：100% (平年：60.7%)

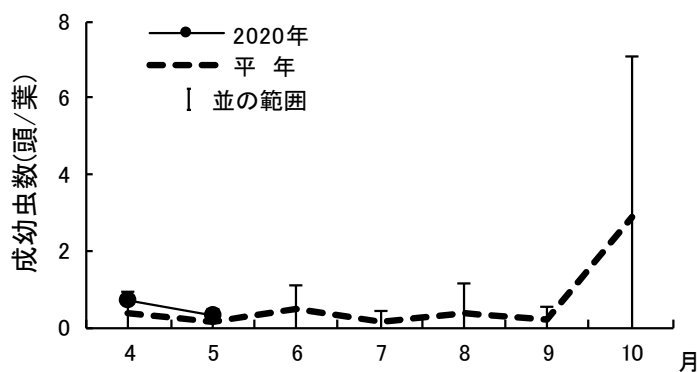
防除のポイント

- ・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

| | | | |
|-------|-----------------|---------------------------------------|---|
| 作物 | オクラ | 地域 | 八重山群島 |
| 病害虫名 | ③ アブラムシ類 | |  |
| 予報 | 6 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | 5 月からの増減傾向 | ↗ | |
| 予報の根拠 | 5 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | その他 (気象要因など) | 平年の発生量の推移 (↗) 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み | |

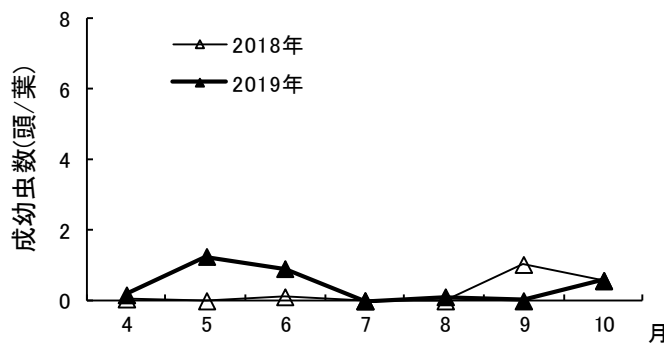
調査結果

今期と平年の推移



アブラムシ類の発生推移

過去2年間の推移




アブラムシ類の発生推移

発生ほ場率 : 40% (平年 : 28.3%)

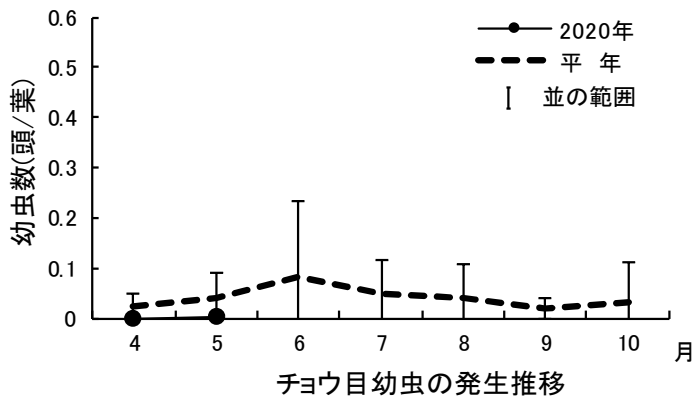
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

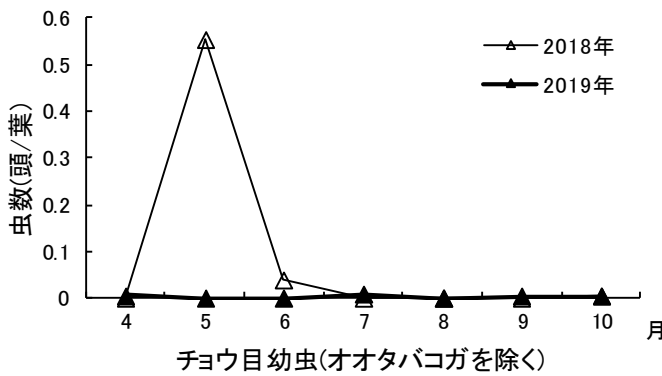
| | | | |
|-------|-------------------|---------------------------------------|---|
| 作物 | オクラ | 地域 | 八重山群島 |
| 病害虫名 | チョウ目幼虫(オオタバコガを除く) | |  <p>フタトガリコヤガ</p> |
| 予報 | 6 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | 5 月からの増減傾向 | ↗ | |
| 予報の根拠 | 5 月の発生量 (平年比) | 並 | |
| | その他 (気象要因など) | 平年の発生量の推移 (↗) 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み | |

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・発生種：フタトガリコヤガ

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。